

会 議 録 (要旨)

会議名	第4回瑞穂町教育基本計画審議会
開催日時	令和元年9月25日(水) 午後6時から午後8時まで
開催場所	ふれあいセンター 会議室
出席者及び欠席者	<p>教育基本計画審議会委員</p> <p>出席者：田中委員、悴田委員、石坂委員、池谷委員、中野委員、山宮委員、戸田委員、田村委員、下田委員、鈴木委員、鳥海委員、宮坂委員、石川委員、友野委員、佐久間委員</p> <p>欠席者：沖委員、岡田委員</p> <p>事務局：小峰教育部長、小熊指導課長、稲富統括指導主事、加藤指導係長</p>
報告事項	なし
審議会次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 第2次教育基本計画素案審議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 第2次教育基本計画素案の修正について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 内容説明(フェーズ3・2からフェーズ3・5まで)</p> <p>4. 事務連絡</p> <p>5. 閉会</p>
傍聴者	なし
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載。同一内容は一つにまとめた。)	<p>次第1. 開会、田中会長から会議の公開、会議の成立、会議時間、についての説明が行われ、会議が進められた。</p> <p>次第2. 小峰教育部長挨拶</p> <p>次第3. 第2次瑞穂町教育基本計画素案審議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 第2次教育基本計画素案の修正について 小熊指導課長から、前回の審議会で質疑等のあった箇所について修正した内容を説明。</p> <p style="padding-left: 20px;">[主な質疑応答]</p> <p style="padding-left: 20px;">(悴田委員)(石坂委員) 文言等の修正</p> <p style="padding-left: 20px;">(田中会長) P34の3(1)について、修正後は学校生活に限定されてしまっているが、修正前は「集団生活」の文言があり、社会生活も含まれていたが、それが抜けているため再検討をお願いしたい。学習指導要領ではしつけに関わる子どもの育成について記載されているが、より広い視野から子どもたちが社会に適用していけるような内容を含めたほうがよいのでは。</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 内容説明(フェーズ3・2からフェーズ3・5まで) 小熊指導課長から内容を説明。</p>

[主な質疑応答]

●フェーズ3・2

(俣田委員)(池谷委員) 文言等の修正

(俣田委員) P 4 3 (4) A L T 派遣の充実の授業時数の増加を研究とは何を研究するのか。

(小熊指導課長) 予算が関わる部分であり、確約できないため研究としています。

(田中会長) そのようなことであれば、A L T 派遣の充実とだけ記載しておけば十分ではないか。

(田中会長) オリンピックパラリンピック教育の推進は、大会が終わっても続けていくものなのか。

(小熊指導課長) レガシーとして継続していきます。

(田中会長) P 4 3 (5) について、施策の部分で音楽鑑賞教室、演劇鑑賞教室、中学校茶道教室とあるが、10年間これで限定してしまってよいのか。もう少し多様な選択肢があるのではないか。その時々先生方の考えや時代の流れもあるのでもう少し検討してみてはどうか。

●フェーズ3・3

(田中会長) 事業名などは一般町民が読んだとき理解できないのではないか。事業名ではなく、事業の主旨を明記すれば良いのではないか。

(石坂委員) P 4 6 (3) の政策目標に80%以上とあるのは何か意図があるのか。本来では全員とすべきでは。

(小熊指導課長) 町の実態として、まずは国や都の数値を目標としているため、80%以上としています。

(田中会長) 教育基本計画で80%以上という数値を設定するのは馴染まないのではないか。事業評価等の段階では80%以上できれば評価することができるが、教育基本計画の段階で、80%で良いとすることはあまりないのではないか。

(戸田委員) 学校、地域、行政ががんばると言う内容は含まれていたが、家庭が抜けているのではないか。親へ向けての施策や親や家庭へのアプローチの内容が少ないのではないか。

(小熊指導課長) 持ち帰り検討します。

(田中会長) 教育研究会など教員の任意団体について、教育委員会として専門性の構築というところまで計画に載せることができるのか、書き方含め検討してもらいたい。

(俣田委員) P 4 7 (4) のビブリオバトルはある団体の作った名称で、一般的な活動の名称ではないため、計画にふさわしくないのでは。

(田中会長) 計画に細かい事業名まで具体的に載せてしまうと、10年間それに縛られてしまうので、教育基本計画に載せるのであれば方針として例えば放課後の学習支援などのような書き方が良いのではないか。教育基本計画とそれを降ろしたものと整理して考えたほうがよ

いのでは。

●フェーズ3・4

(俣田委員)(友野委員)(佐久間委員) 文言修正

(田中会長) P49(1)の学校の欄で、学習指導要領に基づく体育、保健体育の完全実施は、当たり前なことなので、計画に書くべきことではないのではないか。

(小熊指導課長) カッコ内の計画策定についてのみを載せます。

(石坂委員) 総合体育大会などは学校では教育の一環として参加を促してはいるが、学校教育としては直接的ではない。体力向上に向けて教員の資質の向上を図る研修など例示として載せるなどしてはどうか。

●フェーズ3・5

(俣田委員)(宮坂委員)(石坂委員) 文言修正

(田中会長) 特別支援教育の言葉については特殊な文言が多いため、一般の方に見てもらうため、注を付け足したほうが良いものがあるので検討してほしい。

(石川委員) 障害の害の字について、人を示す場合はひらがな表記になるので、福祉課と調整してもらいたい。

次第4. 事務連絡 小熊指導課長から次回予定について説明。

次第5. 閉会、田中会長により閉会。

閉会 午後8時00分